

年頭にあたり、新年のご挨拶をさせていただきます。

今年の年末年始は天気恵まれ、皆さん、良い正月を過ごされたかと思います。

ただ、世界情勢を見渡すと、昨年の米中の貿易摩擦や日韓の争いなど政治的に不穏で、日本にとっても大きな影響がある地政学的リスクが高まった年であり、その傾向は現在も続いております。

今年も昨年末から新年早々にアメリカとイランで不穏な事件が起きるなど、波乱の幕開けとなってしまいました。今朝もイラン側からの局所的な攻撃のニュースが入ってきております。

またオリンピックイヤーは経済が停滞し始める年としてのジンクスもあり、さらにアメリカの大統領選挙もありますので、その結果次第で世界情勢が一変する危険も孕んでいる年でもあります。

最近の世界経済の不安定な動きは、このような政治・経済の世界的緊張の高まりを反映してのものでしょう。

しかし、悪いことばかりではなく、今年には本当の意味で新時代、令和の幕開けであり、さらに干支で言えば「庚子（かのえ・ね）」という年です。

かのえ、の「庚」という漢字は、「かわる」とか「つなぐ」という意味があります。すなわち「庚」とは一定の実を結んで、さらに変貌することを意味します。

一方、「子」は十二支の最初です。

「子」という字は種が芽を出すことを意味しており、生まれてくる命のスタートであり成長や発展、繁栄を意味します。

また、中国では賢者に対する敬称の意味もあり、孔子、孟子、老子など優れた偉人に用いられています。

以上のように、「かのえ庚」年は上手く変貌始める年、「ね子」年は賢くスタートが切れる年を意味しており、「かのえね庚子」の年は、新たな芽吹きとさらなる繁栄の始まりです。

つまり、今年の干支「かのえね庚子」の年は、冷静でクレバーな行動で改革や新しく事を始めるにふさわしい年で、それがとてもうまくいくことを意味しています。

それを当社に当てはめてみれば、当社は昨年より陣容の強化を図り、かつてない体制が実を結びつつあります。また、ITプロジェクトの頑張りで期待以上の成果があがりつつあるとともに、社内では改善・提案に対する気風も高まりつつあります。

また社外に向けて、新たな会社ロゴの作成やホームページの全面改訂なども行いました。

従来の当社のイメージ、不器用で野暮ったいと感じる会社の業態やイメージを、スマートでクレバーな会社に変革させたい、という私の思いが皆さんの努力で地道に実りつつあると感じております。

しかし、当社にはまだまだ改善の余地がたくさんあります。今日の常識は明日の非常識、アイデアなどで新たな価値創造に繋がるものが無限にあります。

会社は変わっていかなくてはなりません。

環境の変化、社会情勢にクレバーに対応できる会社にならないと、皆さんの幸せな将来が約束されません。

そのために、これからも設備や組織などを積極的にインテリジェント化させていく方針ですが、それだけではダ

メで従業員一人ひとりも同じように進化していかないとはいけません。

当社の関連会社はタクマを初めとして、グループ各社が競合する会社は自社とは比較にならない有数の大手企業ばかりです。

そういう中でタクマグループが優良企業として勝ち残ってきているのは、先輩の方々から培ってきた社風、社員一人ひとりが一流意識を持ち情熱を持って頑張ってきているからです。

当社も従業員一人ひとりが一流意識と情熱を持ち、業務だけでなく、社会人としての常識や、公的な場での会話力、問題を感知する力など人間力も身につけ磨いていくようにしてください。私を感じるどころ、そういう点において、皆さんはまだ未熟です。

今年も良い年になるように、お互いに頑張りましょう。

皆さんと皆さんのご家族にとって良き1年となるよう祈念して、私の年頭の挨拶とします。

令和2年 1月6日 井川 清光